

参加方法：
QRコードから申し込み
11/10締切



参加費 1,000円

「鶴見和子の知の足跡―上智大学とその周辺」
鶴見和子研究会 発足記念イベント

＜シンポジウム＞13時～15時40分
「上智大学における鶴見和子―世界と地域を結ぶ知を目指して」

＜エクスカーション＞15時50分～
「鶴見和子の足跡を上智大学に辿るツアー」

＜懇親会＞17時～19時
懇親会会場：上智大学四谷キャンパス2号館5階 教職員食堂
会費：3,000円。QRコードから要申込。

2025年11月22日（土）
開場12時半/開会13時

@上智大学四谷キャンパス6号館2階201教室

主催：鶴見和子研究会、上智大学メディア・ジャーナリズム研究所
共催：龍谷大学国際社会文化研究所
問合せ先：鶴見和子研究会発足記念イベント実行委員会（代表・平島（奥村）みさ）
メールアドレス：sophiatsurumi1122@gmail.com
写真撮影：大石芳野

Sophia Open 11/5 Wed - 11/24 Mon
Research Weeks 2025



「鶴見和子の知の足跡—上智大学とその周辺」

鶴見和子研究会 発足記念イベント

●シンポジウムプログラム

＜開催校 あいさつ＞ 音好宏・上智大学メディア・ジャーナリズム研究所所長

＜研究会発起人 あいさつ＞ 松居竜五・龍谷大学教授

＜シンポジウム＞ 「上智大学における鶴見和子—世界と地域を結ぶ知を目指して」

司会：平島（奥村）みさ・東洋大学教授／鶴見和子研究会代表

平尾（湯川）桂子（上智大学名誉教授、白百合女子大学教授）

「^{カイロス}交差する時の中で—鶴見和子との往還」

岩村沢也（淑徳大学教授）

「鶴見和子の内発的発展論と緒方貞子の人間の安全保障の比較」

音好宏（上智大学教授）

「鶴見和子の思考と実践—『地方の時代』映像祭を手がかりに」

谷口吉光（秋田県立大学名誉教授）

「鶴見和子はなぜ自分の専門を『比較社会学』と呼んだのか」

コメンテーター：加古陽治・東京新聞編集委員／森田系太郎・立教大学兼任講師

●上智大学四ツ谷キャンパスへのアクセス

JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 / 四ツ谷駅

麴町口・赤坂口から徒歩3分

6号館は、北門から入場して7号館（「上智大学」の文字があるビル）をくぐり抜けて見えてくる左の高いビル

